



# あさひ



朝日ヶ丘小学校  
令和6年7月2日  
学校だより

## 機を逃さず！

梅雨の合間に「夏」の強い日差しを感じる季節になりました。蒸し暑さの中でも、校庭やプールから子供たちの元気な声が聞こえています。1年生が育てている朝顔も、小さな双葉からいつの間にか大きな本葉でいっぱい成長しました。朝顔では、双葉をよき時に選定し、水を毎日与え、大きな本葉と成長します。これは、植物の生長であり、人間とは全く異なることは、当たり前ですが、何事にもよき時があり、それは事柄によって時期も年齢等も大きく変わります。

コロナ禍が明け、友達と一緒に活動できることが増えた分、子供同士折り合いがつかないときも出てきます。一番良いのは、子供同士で解決できるよう支援することですが、よき時に支援ができないと大きな問題となってしまいます。機を逃さない支援・指導を続けていきたいと思いません。ご家庭でお気づきのこと等がありましたら、すぐに学校にご連絡いただければ幸いです。

先月は、「千葉市表現運動発表会」がさつきが丘西小学校で行われ、4年2組が学校の代表として参加し、一人一人が全身でさまざまな「クッキング」の様子を表現し、他校から盛んな拍手を受けていました。

6月26日～28日には、6年生の「農山村留学」がありました。今年の学年テーマは「自立」、千葉市少年自然の家で仲間と寝食を共にする中で、自宅とは違う不便さを感じながらも、友達と協力し合い過ごす楽しさを感じたことでしょう。改めて、体験活動の大切さを実感しました。

7月3日（水）から、保護者面談を行います。4月からこれまでの学校での様子をお伝えし、ご家庭での様子をお聞きます。子供たちの可能性を伸ばすためには、学校と保護者が協力していくことが大切だと考えていますので、お忙しいとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

また、今年の夏休みも、土日を含めると44日間あります。お子様に、ぜひ「夏休みにしかできない体験」をさせてください。そのためには、計画的で規則正しい生活がとても大事になります。ご家庭でも夏休み中の過ごし方についてお話していただければと思います。

夏休みまでに学んだこと、身に付けたことを糧に、夏休みにしかできない体験を通して、子供たちが大きく成長してくれることを期待しています。この機を逃さずに・・・

校長 齊藤 利恵

7・8月の生活目標 下学年「ふわふわ言葉で友だをたくさんつくろう」  
上学年「思いやりの心を伝えよう」

※ふわふわ言葉や優しい言葉かけができるように支援し、心のあったかさを育てていきます。  
学年・学級の実態に合わせて、具体的な目標を設定して取り組みます。